

大阪から全国に広がる『マチオモイ帖』 「ゆうちょ銀行」コラボカレンダー完成、初！全47都道府県のマチオモイ帖掲載へ

～大切なマチを思い出し、温かい気持ちになるカレンダー、全国の郵便局・ゆうちょ銀行で配布中～

クリエイター（※1）支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」（所在地：大阪市北区 所長：堂野 智史、以下メビック扇町）、並びに、わたしのマチオモイ帖制作委員会が展開する「マチオモイ帖」と、ゆうちょ銀行がコラボレーションした「ゆうちょマチオモイカレンダー2017」（デザイン4種、計約90万部）が完成し、全国の郵便局・ゆうちょ銀行で配布しています（※2）。5度目の共同制作となった2017年版は、初めて、全47都道府県から厳選したマチオモイ帖をデザインに採用。1年間掲示するカレンダーだからこそ、日本中の人々が大切なマチを思い出し、温かい気持ちになってもらえることを願って、制作しました。なお、12/9から1/29まで、メビック扇町で開催する「わたしのマチオモイ帖展覧会」で、カレンダーに採用されたマチオモイ帖作品をご覧ください。

※1 クリエイターとは、プロのデザイナー、写真家、イラストレーター、映像作家、コピーライター、編集者などを指します。

※2 各郵便局・ゆうちょ銀行での在庫がなくなりしだい、配布は終了いたします。

「マチオモイ帖」は、日本各地のクリエイターが、生まれ育ったふるさとや学生時代に過ごした町、今暮らす町など、思い入れのある町やそこに住む人への想いを、写真やイラスト、文章などで綴った冊子や映像の総称です。東日本大震災が発生した2011年、大阪在住のコピーライター村上美香氏が故郷「広島県尾道市因島重井町」をテーマに制作した『しげい帖』がクリエイターの間で共感呼び、同年、34作品の展覧会を初開催。今では全国から約1200帖が寄せられる一大プロジェクトに発展しました。



この「町をおもう」というアプローチが、全国どこにでもある約24,000の郵便局・ゆうちょ銀行の想いに通じると、2013年にコラボレーションが実現。以来、5年にわたりカレンダーの共同制作が続いています。

■郵便局長などによる町紹介やクイズも掲載

2017年版は、47すべての都道府県の町を紹介しようと、初めて全国を4つのブロックに分け、デザイン4種を制作しました。中身は、カレンダーページのほか、地域の郵便局長や店長などが、町の魅力やわが町に対する想いを紹介するページや、地域のユニークな方言や名産等に関する「マチオモイクイズ」コーナーを設けています。

■参考資料（同封）

- ・展覧会概要「my home town わたしのマチオモイ帖 おもいを届ける冬」チラシ
- ・ゆうちょマチオモイカレンダー 採用作品一覧

本件に関するメディアからのお問い合わせ先

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町 広報担当：松井
〒530-0025 大阪市北区扇町2-1-7 カンテレ扇町スクエア3F
TEL:06-6316-8780（平日10:00～21:30） FAX:06-6316-8781 e-mail:info@mebic.com
ホームページ: <http://www.mebic.com/>
マチオモイ帖プロジェクトに関する詳細情報は、以下を参照ください。
わたしのマチオモイ帖ホームページ <http://machiomoi.net/>